山県市学園構想と こどもに関する情報・データ連携

山県市は学校統合をせずに、きめ細かく指導ができる小規模校の良さと 集団で切磋琢磨される大規模校の良さの両面を実現させる 「第三の道」を選択しました。

カリキュラムを一体化し、スクールバス等を活用して 学校間の交流を図ります。

様々な集団の中で動くこどもの姿をとらえるための手助けとして、 こども家庭庁の「こどもデータ連携実証事業」の支援を得ました。 こどもを取り巻く、教育委員会、福祉課サイドのデータを連携し、 岐阜大学の「生徒指導に関する学校課題アセスメントSTAR」、 出欠席情報・健診受診履歴等、中部事務機、文溪堂と共同開発し、 こどものSOSの早期発見早期対応に生かそうとした成果と課題を、 個人情報の取り扱いも含めて、公表します。

7/9 [水] 13:30~16:00 (受付は13:00開始)

山県市役所 3階大会議室 岐阜県山県市高木1000番地1

PROGRAM

- 1. 市長挨拶 ----- 山県市長 林 宏優
- —— 山県市教育委員会 教育長 服部 和也 成果報告 2.
- シンポジウム(内容は裏面に記載) 3.
- こども家庭庁総評 長官官房参事官付EBPM推進室 阿部 将英 氏

参加無料

- 参加には事前申込が必要となります。
- 参加申込は裏面の申込書、もしくは、インターネット(QRコード)より お願いいたします。

主催・お問合せ

山県市教育委員会

岐阜県山県市高木1000番地1 TEL:(0581)22-6844(教育委員会直通)

共催・後援(予定)

岐阜県教育委員会 / 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 / 中部事務機株式会社 / 株式会社文溪堂

シンポジウム内容

テーマ 令和5年度・6年度 こどもデータ連携実証事業 成果と課題

プログラム(予定)

- 1. 参加者紹介
- 2. 本事業のそれぞれの立場での成果
- 3. 本事業の問題点、課題
- 4. 個人情報の取り扱いについて

ファシリテーター

早川 三根夫 ――「誰一人取り残させない」検討コンソーシアム 代表

参加者(予定)

大村 統子 ―――― 山県市こどもサポートセンター 所長

吉澤 寛之 ——— 岐阜大学 大学院教育学研究科 教授

乾 美恵子 —— U. I総合法律事務所 弁護士服部 和也 ———— 山県市教育委員会 教育長

國枝 秀和 —— 中部事務機株式会社 営業戦略室 室長

【参加申込書】

所属名 (自治体名·企業名等)					
所属/部署名			役職名		
お名前					
電話番号					
メールアドレス					
来場方法	□車	□ 公共交通機	関 □ その	の他 ()

【申込用紙提出先】山県市教育委員会 学校教育課 TEL:(0581)22-6844 FAX:(0581)22-6851



▼インターネットのお申し込みはQRコードから

https://forms.office.com/r/R78McAJHfx

※ ご提供いただく個人情報の利用目的等につきましては、事務局(中部事務機株式会社)の ホームページに掲載しております個人情報保護方針をご覧ください。

https://www.cbm.co.jp/privacy